



**FERNANDES**

1993 FERNANDES CATALOGUE

**Vol.1**





## I N D E X

FERNANDES SUSTAINER.....	4
REVOLVER"FR".....	6
REVOLVER BASS"FRB".....	22
MUSICIAN'S MODEL.....	28
TEJ.....	42
THE FUNCTION"FST".....	46
BURNY.....	58
FERNANDES GUITAR ENGINEER SCHOOL.....	72
REPLACEMENT PARTS.....	74
FERNANDES AMPLIFIERS.....	80
DOD COMPACT EFFECTS.....	82
DIGITECH EFFECTS.....	84
ACCESSORIES.....	88
ZO-3 & PIE-ZO.....	95

※COLOR CHART及びマイナーチェンジについては、  
P-44を参照して下さい。

1983

FERNANDES  
CATALOG



フェルナンデスは、平成5年を持ちこたえて、無事、25周年を迎えることになりました。これも偏に皆様方のお引き立ての賜物と、改めて御礼申し上げます次第です。

さて、私どもフェルナンデスでは、この四半世紀を支えて頂いた全ての方々に向けて、感謝と更にこれからの飛躍をお約束する上からも、創業25周年を記念したキャンペーンを催すことに致しました。

「THANKS-感謝、そして飛躍……」をテーマに、この秋「楽器フェア」を控えた一年間を通して、いろいろな角度から皆様方のもとへ、私たちのメッセージを発信し続けたいと考えています。これを機に、皆様方には今まで以上のより一層のご愛顧を賜ります様、心よりお願い申し上げます。次第です。



*Start Together '98*

## 出会うことから、始まる。

いい曲と出会う、自分の感性に合ったサウンドと出会う、いい音楽仲間と出会う…  
そして、最高のパートナーとしての、いい楽器と出会う。

すべて、出会うことから始まります。

常にミュージック・シーンをリードするフェルナンデスは、  
プレイヤーの求める楽器づくりに、ベストのクラフトマン・シップで応えつつつけてきました。  
もう目の前にせまっている21世紀に向けて、  
これからも、良い楽器はどうあるべきかを追求しながら  
楽器づくりの情熱とクリエイティビティで応えて行きます。

START, TOGETHER



# FERNANDES SUSTAINER<sup>®</sup>

ENDLESS SUSTAIN

*FS*  
FERNANDES SUSTAINER<sup>®</sup>

PRODUCED BY  
FERNANDES

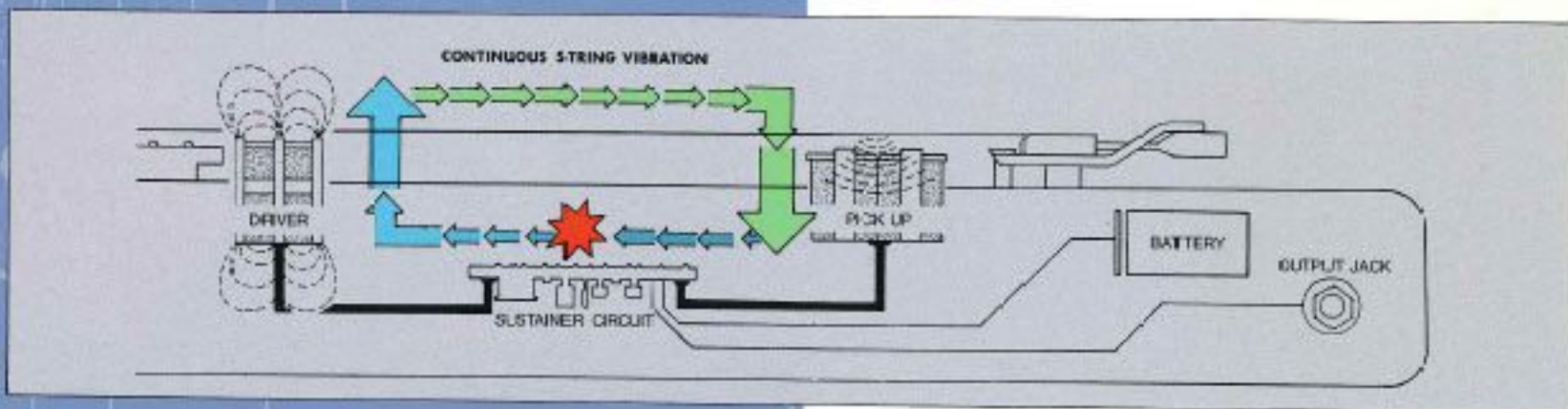
"If you are looking for  
great **FEEDBACK** and **SUSTAIN** at any volume,  
this is the one."

*Neal Schon*

NEAL SCHON



# ロック・ギタリストなら誰もが待ち望んだ永遠のサステーンを実現、 FERNANDES SUSTAINER®



ひとことではいってしまえば、「サステーンの追求はロック・ギターの歴史」そのものだ。より多くのサステーンを求めてギター・クラフトマンは改良を重ね、エレクドリック・ギターはさまざまな進化をとげてきた。しかし、これまで完成を見ることのでなかった「永遠のサステーン」をFERNANDES SUSTAINERがついに実現。まったく新しいサウンド・スペースを目の前に広げることになったのだ。

## ■FERNANDES SUSTAINER®の原理

サスティナーの原理は極めて単純だ。マグネチック・ピックアップで拾った弦振動を内蔵アンプで増幅し、電磁ドライバーにより弦にフィードバック、強制的に弦振動を起こさせるというしくみになっている。つまり、従来アンプから出た音を使い、空気振動によって起こしていたフィードバックを電氣的に行っていると考えればよいだろう。

原理は単純だが、実際にこれを実現するためには数多くの難関が存在していた。そのひとつが電磁ドライバーから発生した電磁エネルギーが再びピックアップから入り込み高周波ノイズを発生させるという磁気フィードバック現象。また、せっかくドライバーにより電磁エネルギーを放出しても、弦振動と電磁駆動エネルギーの位相が相殺する関係にあっては、まったく用を足さないことになる。FERNANDES SUSTAINERは、磁気フィードバックに関しては独自の最新電磁理論の応用により対処、位相の問題に対しても最小の駆動エネルギーで最大を発揮する最適位相制御回路を開発することによってクリアしている。

## ■電磁ドライバー

FERNANDES SUSTAINERの心臓部ともいえる電磁ドライバーは、マグネチック・ピックアップによく似た構造を持っている。ただ、電磁ドライバーには条件として2つの要求される基本性能がある。ひとつは他のピックアップに電磁的な影響を与えないように電磁エネルギーの放射角を制限するという点。もうひとつは、電磁エネルギーの出力効率を高めるために、弦に磁束を集中させるということだ。これらの条件をクリアするため、弦に対して水平方向に配置された永久磁石を三枚のヨーク板ではさんだ3ヨーク方式を考案。また、弦に対してコイルを直角の方向に巻くことにより、電磁エネルギーをあかかもレンズで集光したかのように弦のポイントに集束することに成功。磁気フィードバックを発生させることなく最高の効率で弦振動を作り出すことのできる理想的な電磁ドライバーを実現した。

ところで、ギターには当然のことながら太さと質量、張力の異なる複数の弦が張られている。そのため、各弦の振動特性は一律でなく、質量の小さい弦(細い弦)は振動させにくいという性質をもっている。FERNANDES SUSTAINERは、この点についても十分に研究を重ね、各弦に最適なバランスで電磁エネルギーが放射されるようにヨーク板によって磁束を制御する構造をとっている。そのため、意図しないサステーンを防ぐために弦をミュートするといった操作もほとんど不要で、プレイヤーの思いのままにサステーンをコントロールすることを可能にしている。

## ■効果

はっきり言って、FERNANDES SUSTAINERの効果は絶大で、スイッチを入れておけば、アンプから音が出ていようがいまいが関係なく弦は振動し続ける。もちろん、ディストーションの有無も関係なく、まったくのクリーン・サウンドでもサステーンさせ続けることができるため、今までにない新しいギター・サウンドや演奏を生み出す可能性も十分にひめているといえるだろう。

JP Pat. Pending 5件  
US Pat. Pending 3件  
Other Countries 16件



\*P-10~11にもFERNANDES SUSTAINERについて詳しく解説しております。





FERNANDES SUSTAINER™

REVOLVER  
**FR-95S**



REVOLVER GUITAR "FR"

SBL



トレンドは追うものではない、それは創り出すことだ。  
"S"のインプレッション——FR-95S。

REVOLVER

FR-95S

¥95,000

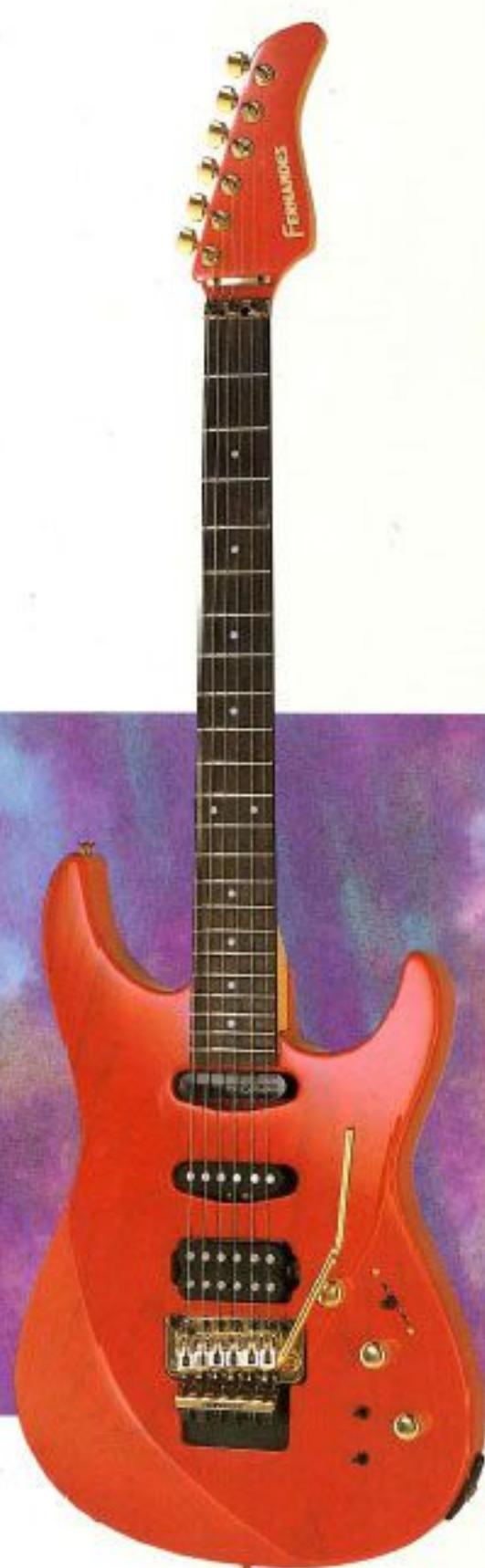
NECK/Maple  
FINGER BOARD/Rosewood, 22F., 350R, 25.50" Scale  
NECK JOINT/Bolt-On  
BODY/Ses  
DRIVER/CD-100(FERNANDES SUSTAINER)  
PICK UP/THS-1(center), THD-1(rear)  
CONTROL/1Volume, 1Tone, 1Sustain Volume,  
3Way Lever-SW, 2Mini Toggle-SW,  
(ON/OFF and HARMONIC SELECT)  
BRIDGE/FRT-1G(with PITCH-SIFT CAVITY)  
COLOR/SBL, STW, STR, BS



BS



STW



STR



# REVOLVER FR-75S



FERNANDES SUSTAINER®





# 感性に鋭くアクセスするニュー・ポテンシャル——FR-75S。

REVOLVER

## FR-75S

¥75,000

NECK/Maple  
FINGER BOARD/Rosewood 22F. 350R. 25.50" Scale  
NECK JOINT/ Bolt-On  
BODY/Seq  
DRIVER/COIL/FERNANDES SUSTAINER  
PICK-UP/THS-1(center), THD-1(rear)  
CONTROL/Volume, 1Tone, 1Sustain Volume,  
3Way Lever-SW, 2Mini Toggle-SW (ON/OFF  
and HARMONIC SELECT)  
BRIDGE/FFT-1B  
COLOR/SBL, STW, STR, STP



FERNANDES SUSTAINER



# 感性に限りはない。永遠のサステーンを実現した、 FERNANDES SUSTAINER®

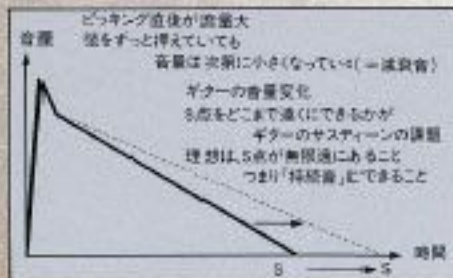


## 「サステーン」が、ロックのエモーションを創りつづけてきた。

エレクトリック・ギターの世界——それは、常にアーティストが求める新しいサウンドと、その要望に応えるハード面の開発、そしてハード面が開拓した新しい可能性により、ソフト面そのものもその可能性を追求しつづけてきた、という互いのアプローチがぶつかり合い進化を遂げてきたという事実の上にならなくてはならない。「サステーン」もまた、エレクトリック・ギターの表現の可能性の追求とともにそのサウンドのタイプ、そしてクオリティの向上をとおながり変えてきたのだ。

## 本来、「サステーン」とは、どういうものか？

「サステーン(SUSTAIN)」という言葉の持つ意味はもともと「持続する」ということで、音質が一定に保持された状態、あるいは減衰音が残っている状態をいう。エレクトリック・ギターに限りサステーンを見た場合、ギターの音量変化は下図のようになる。減衰音であるギターの5点がどこまで遠くなるかである。ギターのニュアンスは失わずに、しかも完全な持続音としてのサステーンが得られれば、表現力は飛躍的に向上する。減衰音であるギターの音を伸ばすということの究極はオルガンのような持続音にもできるということであると言えるだろう。パワーとスピード感に加え、ロング・サステーンにより、ポカールに負けない表現力を身につけることができるのだ。



## ロング・サステーンへの様々な試みはどのように行われてきたか。

### (A) ハードウェアの改良(振動の保持)

弦に加えられた振動が長く保持されることは、サステーンを得ることにつながるため、弦振動にかかわるボディの各部について、その材質や構造が研究された。ボディトップをメイプルなどの硬質材に、ネックをスルーネックにするなどもそのひとつであった。また、弦にかかるテンションを高めるため、ヘッドやブリッジからアールピースまでの角度を大きくしたりすることも行われた。さらに、弦振動のロスを少なくしていくため、ナットにプラスを使用したり、ブリッジ下に金属のサステイナープレート埋め込むなどという手法もあり、ボディやネックなどの全体を金属にしてしまうというものも登場した。これらの基本的な部分はギターの改良につながったが、いずれも減衰音を持続音に変えてしまうなどの効果は得られるものではなかった。

### (B) ボリュームの使用(音量の保持)

エレクトリック・ギターは、電氣的に音量を増幅しているわけだから、音の減衰とは反対に音量を上げ、持続音をつくりだす、すなわちボリューム・ペダルやギター本体のボリュームを使用することも、そのテクニックのひとつになった。しかし、これらの奏法は、ギター本来のアタック音を消し、ヴァイオリンに似た音を得るために使用される、という結果になった。

### (C) エフェクター

サステーンの追求が産んだものなかで、最も大きなもののひとつが、ディストーション(オーバードライブ)サウンドだろう。アンプをフルアップすることで、その独特の音色とサステーンを生み出し、このサウンドが「ロック」を生み出していくわけだ。この効果を得るためにつくり出されたのが「ファズ」であるが、受け入れられたのはサステーンそのものではなくむしろその音色であり、その後「オーバードライブ」、「ディストーション」といったいわゆる歪み系のエフェクターにつながっていく。

### (D) 奏法の追求(弦振動の保持)

弦振動の保持のひとつの奏法としてはピブラートによりサステーンを得る、というのがベーシックな奏法だ。弦にエネルギー(振動)を加え続ける方法の代表的なものは、バイオリンなどのように弓を使用する奏法も同様のロング・サステーンを得られるが、音域、演奏性も限られた。

### (E) エレクトロニクスの応用

サステーンへのあくなき追求は、先端のエレクトロニクス技術の使用へと発展される。サンプリング技術の応用もあるがこの方法だと無限のサステーンは得られるが、ハンドピブラートなど微妙な表現ニュアンスが不可能だ。またギターを単なるトリガーマシンとして、別の音源を鳴らすギター・シンセも「持続音」は得られるが、ギター本来の音とは全く異なる音色が得られるだけに終っている。

### (F) フィードバック奏法

実際に一定の実用的な方法としてポピュラーになっていくものに「フィードバック奏法」がある。これは、アンプからの大パワーの音により弦を振動させる(フィードバック)という方法で、マイクのハウリングと原理は同じだ。しかし、この方法はコントロールすることが非常に困難で、演奏に確実に採り入れるのは簡単なことではない。

### (G) サステイナーシステム

フィードバック奏法をコンパクトにし、ギター本体の中だけでフィードバックのループを作ることが試みられた。まず、ギターのヘッド部から振動をひろい、それを増幅して弦振動にフィードバックするというサステイナーシステムがそれだ。しかし、その効果は完璧というにはいまいちもので、このシステムをさらに大きく改良し、ロング・サステーンについての一つの結論ともいえる「FERNANDES SUSTAINERシステム」がついには誕生した。ピックアップが弦振動を磁気力から電気信号に変えるのとは逆に、電気信号から磁力を生み出し弦を振動させるというのだ。この画期的なシステムは、ギ

ター本体に組み込まれるため、大音量のアンプも不要のうえ、ステージでのスタンディング・ポジションを気にすることもない。さらに音色の変化も自在という、ギターにとってまさに画期的システムといえることができるのだ。

## ギターの表現そのものを進化させる画期的システム、FERNANDES SUSTAINER SYSTEM®

サステーンの追求は多くのものを生み出してきた。ロング・サステーンを生み出すための工夫が多くの音色を生み、新しい演奏スタイルを生み出してきた。その歴史はロック・ギターそのものの歴史そのものといっても過言ではない。FERNANDES SUSTAINERの登場により、ギターの表現領域は今や、完全な持続音によるフレーズをもその中に取り入れ、新しい表現の可能性を大きく広げている。「誰もか」「いつでも」「確実に」、大音量でなくても、フレットのどの位置でもどんな音色でも無限のロング・サステーンが自由に得られる。さあ、ハード側の準備は完璧だ。これからはギタリスト諸君がどう使いこなすか、それがこれからのロックを進化させていくカギといえるだろう。

## フィードバック奏法について

「FERNANDES SUSTAINER」の原理と構造の話に入る前に「フィードバック奏法」について見てみよう。「FERNANDES SUSTAINER」の原理と「フィードバック奏法」の原理は基本的な部分では同じものとも考えられるからだ。

まず、「フィードバック奏法」のポイントは、なんと言ってもハイパワーのアンプによる大音量とギターの向き(弦の向き)にある。通常、ピックされた弦の振動はピックアップで電気信号に変えられ、アウトプットジャックに差し込まれたシールドコードを伝わってアンプに入る。信号はアンプで増幅され、スピーカーから音として出力されるわけだ。この時、出力される音が大きく、しかも、空気の振動として伝わってくるエネルギー(音)をキャッチできる方向に弦が向いている場合、それにより弦が振動する。つまり、ピック→弦振動→ピックアップ→アウトプットジャック→シールドコード→アンプ→スピーカー→空気の振動→弦振動→ピックアップ→…のように、一度ピックされた弦の音がスピーカーから出力され、その音により弦の振動が起こされ、それがまた音として出力される、いわゆるループができあがるわけだ。これにより、本来減衰していく音がそのエネルギーを失わず持続音となって、超ロング・サステーンが得られることになる。これが「フィードバック奏法」の原理だ。

## フィードバック奏法の問題点

このフィードバック奏法だが、コントロールが非常に難しい。単に1音だけを弾いて、フィードバックを起こすことは簡単にいってもいいが、ステージ上で、しかもフレーズの中に確実に取り入れプレイすることはそう簡単にはいかない。フィードバックを起こすピッチやギ

ターの向き、アンプ(スピーカー)との距離、音量などはその都度、精密なチェックが必要になる。つまり、プレイ以外の様々なことに気を使わなければならないし、リスクも大きいというのがフィードバック奏法の問題点だ。

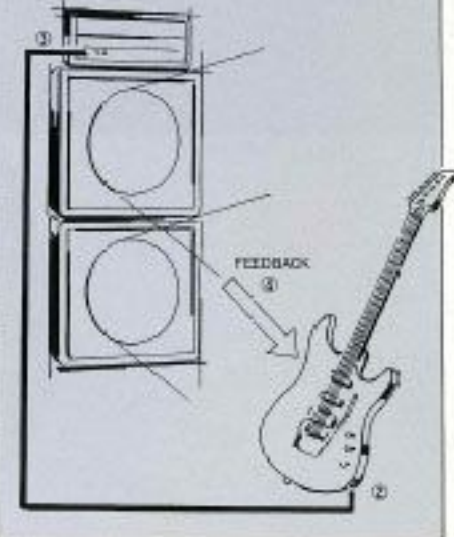
FERNANDES SUSTAINERは、これらの問題点をクリアし「誰もか」「いつでも」「確実に」、大音量でなくても、フレットのどの位置でも、どんな音色でも、ロング・サステーンが自由に得られるシステムだ。

## FERNANDES SUSTAINER®の原理

まず、図を見て欲しい。ピックされた弦は振動を起こし、それをピックアップがキャッチする。ここまでは普通のエレクトリック・ギターと全く変わらない。ピックアップがキャッチした信号は2つに分けられ、一方はアウトプットジャックから通常通り出力される。そして、もう一方は、ギターのボディ内にマウントされたサステイナー・サーキット(アンプの役割をする)で駆動信号に変換され、フロント・ピックアップの位置にマウントされているドライバーに送られる。このドライバーでは、駆動信号を磁力に変換し、弦を引き寄せたり押し下げることで、弦を振動させる。この弦振動は、またピックアップによりキャッチされ、出力される一方サステイナー・サーキットに入り、ドライバーを作動させ、弦を振動させるというループができ上がる。これにより、フィードバック奏法と同じ状態になり、超ロング・サステーン(=持続音)が得られるという画期的なシステムなのだ。

### ■フィードバック奏法の原理

- ① ピックアップ→弦振動→ピックアップ→アウトプット (出力電気信号)
- ② スピーカー→アンプ→シールドコード (音→電気信号)





# FERNANDES SUSTAINER®



## FERNANDES SUSTAINER® の実際

さて、FERNANDES SUSTAINERを実際に作動させ、超ロング・サステーンを得る方法だが、難しいことは全く無い。操作ポイントはたったシンプルで、2つのスイッチと1つのつまみでFERNANDES SUSTAINERのコントロールの全てだ(ギター裏面を見てもアクティブのギターと同じような電池ボックスが目にとまるくらいで、バックパネルも特に大きくはない)。2つのスイッチは、ジャックに近い方がFERNANDES SUSTAINERのON/OFFスイッチ(電源スイッチではない)、ネックに近い方が3点切り換えのモード・スイッチ(原音/原音+ハーモニクス/ハーモニクス)になっている。スイッチを事前に倒せば、弾いた音のピッチでフィードバックが起き、向う側に倒せば弾いた音のハーモニクスの音でフィードバックが起きる。センター・ポジションはそのミックスというわけだ。つまみは、FERNANDES SUSTAINERのボリュームで、センター・クリックが付いており、通常はセンターにしておくが、感度を上げたり下げたりしたい場合、このつまみで調整する。電源スイッチはアウトプット・ジャックにあり、プラグが差し込まれるとPOWER ONとなる。ボディ裏のサーキットカバーをよく見ると小さな穴が開いているが、ここからパワー・インジケータが見えるようになっている。パワーONになるとここから、赤いLEDの光が見える。操作をまとめると、プラグをアウトプット・ジャックにつなぎ、FERNANDES SUSTAINERをONにするだけの至って簡単なものだ。



## FERNANDES SUSTAINER® のメリット

フィードバック奏法に対してFERNANDES SUSTAINERのメリットは数多くある。前に述べたようなフィードバ

ク奏法の問題点は、全て解消されていると言ってもよい。誰でも簡単にフィードバックを起こすことができ、ロング・トーンにしたい音はそのまま弦を押え続けているだけでよい。もちろん、サステーンを止め、音を切りたい場合は弦を押えている手を緩めるという普通のプレイでOKだ。つまり、FERNANDES SUSTAINERのスイッチをONにしておくだけで、全く普通のプレイができ、ロング・サステーンが欲しい場合にもその弦を押えたままにしておくだけでよい。サステーンしている音に対してハンド・ビブラーでもアーミングもチョーキングも自由自在、プレイの間に自然にロング・サステーンが取り入れられ、ワン・フレーズ弾く途中で、超ロング・サステーンに聴きわけて思わず次の音を弾くのを忘れてしまいうるほど、気持ち良く伸びる。チョーキングをしても、アーミングをしても、弦の振動を止めない限り伸び続ける。しかも、ギターならではのピッキングのニュアンスもそのままだから、今までのギタープレイに超ロング・サステーンもプラスして使えるようになるという、ギタリストには本当にうれしいシステムだ。

## FERNANDES SUSTAINER® でなければできないこと

FERNANDES SUSTAINERは、フィードバック奏法のウイークポイントを一気に解消し、さらに、フィードバック奏法ではほとんど不可能であった表現をも可能にした。フィードバック奏法のウイークポイントは、その効果の確実性についての不安とコントロールの難しさであるが、FERNANDES SUSTAINERにより、ステージでの立ち位置やアンプの音量、スピーカーとギターとの角度など、フィードバック奏法に付いてまわるわずらわしさも全く気にすることなくロング・サステーンが得られるようになった。ここまでは、フィードバック奏法を確実なものにしただけのものであるが(これだけでもたいへんなことなのだが)、さらにFERNANDES SUSTAINERは、フィードバック奏法では不可能だった新し

い領域にまで表現力を広げた。

まず、音色の制約がなくなった。さらに、音量の制約も取り払われた。フィードバック奏法は、ディストーション・トーンと大音量を前提としており、クリーン・トーンや小さい音量ではロング・サステーンを得るのは難しかった。つまり、フィードバック奏法を使う場合は音量や音色が必然的に決められてしまい、クリーン・サウンドでの超ロング・サステーンや、キメ強かくエフェクターをかけたサウンド創りなどは不可能に近かった。これに対してFERNANDES SUSTAINERは、完全なクリーン・サウンドでの超ロング・サステーンも可能であるし、コーラス、フランジャーなどエフェクターによるサウンド創りもキメ強かくでき、そのサウンドのままロング・サステーンが得られる。さらに、FERNANDES SUSTAINERに装備されたコントロールで、サステーンそのもののボリューム調節や音色のセレクトが可能だ。

## FERNANDES SUSTAINER® のコントロールの使いこなし

### フィードバックは好きなときに得られる (ON/OFFスイッチの活用)

FERNANDES SUSTAINERは、ロング・サステーンが欲しい時にスイッチをONにするだけで、フィードバックが得られる。通常はスイッチをOFFにしておき、ロング・サステーンさせたい時に、その音をピッキングした直後にONにすれば、効果がかかる。ロング・サステーンをストップさせる時にOFFに戻せばよいわけだ。ONにしても、ピッキングのニュアンスが失われず、速いフレーズも全く問題無く弾けるので、ONにするタイミングは必ずしもピッキング直後でなくてもかまわない。いちいちON/OFFするのが面倒だという人はONにしたままでもよいだろう。

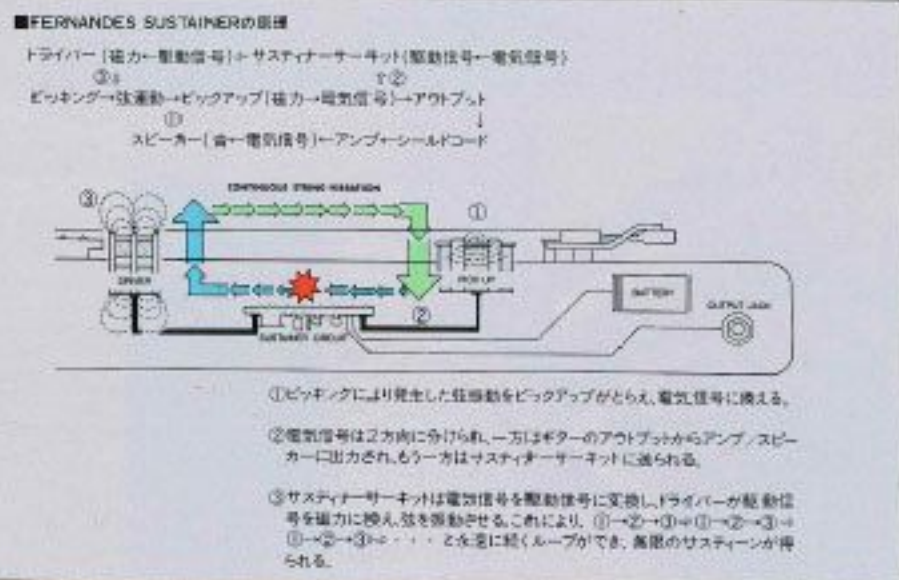
### プレイスタイルに合わせたフィードバック (サステーン・ボリュームの使いこなし)

サステーン・ボリュームは、サステーンの強さをコントロールするが、感度の調節は通常のボリュームの感覚でコントロールすることで全く問題ない。まず、左いっぱいに戻した位置が3ニマム・0の位置になり、サステーン効果は得られなくなる。反対に右いっぱいに戻した位置を10と考えると、2~3の位置では「音がよく伸びるノーマルギターのようなニュアンスが得られ、4~6の位置では「クリーンサウンドやコードでのアプローチ」に適したサステーンレベルが得られる。さらに、フルアップした10の位置では「サステーン効果が最大」になるとともに、「サステーンの立ち上がりも一番早く」なる。中央の5の位置にはセンター・クリックがあるので、設定の日安にできるだろう。センター・クリック付近はクリーン・サウンドやコードでのサステーン・アプローチ用、フルアップした10付近はフィードバック・タイプのアプローチ用と覚えておくとよいだろう。

### フィードバックの音色が選べる (サウンドモードセクター)

フィードバック奏法では、フィードバックさせることで一杯で、音色をコントロールすることなどは夢の話だった。しかし、FERNANDES SUSTAINERは、フィードバックそのものの音色が選べるという画期的な機能を備えている。FERNANDES SUSTAINERの2つのスイッチのうち、ネックに近い方が3点切り換えのサウンドモードセクターになっている。このモード・スイッチを手前に倒すと、弾いた音のピッチでそのままサステーンさせることができるスタンダード・モード、向う側に倒すと、弾いた音のハーモニクス(倍音)でフィードバックが起き、フィードバック奏法で音がうら返ったようになるサウンドが得られるハーモニクス・モードになり、センター・ポジションはそのミックスになる。このハーモニクス・モードでは、プレイするポジションによりランダムに、1オクターブ5度上の音(3rdハーモニクス=3倍音)、2オクターブ上の音(4thハーモニクス=4倍音)、2オクターブ3度上の音(5thハーモニクス=5倍音)が出力される。これはどのポジションでどのハーモニクスが出るということを気にするよりも、サステーン・サウンドをよりワイルドな感じにしたい場合にハーモニクス・モードあるいはミックス・モードにすると覚えておくのがよいだろう。

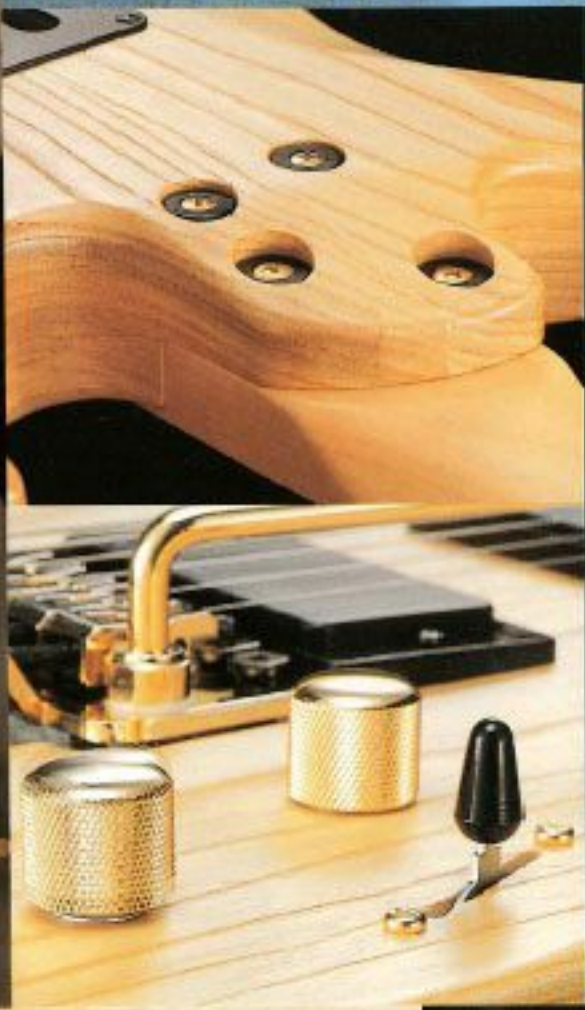
ギターは今や、完全な持続音によるフレーズをもその表現領域の中に取り入れた。「誰もか」「いつでも」「確実に」使い、大音量でなくても、フレットのどの位置でもどんな音色でも、ロング・サステーンが自由に得られる。FERNANDES SUSTAINERは、ギタリストに新しい表現の可能性を提示しているのだ。







REVOLVER  
FR-75





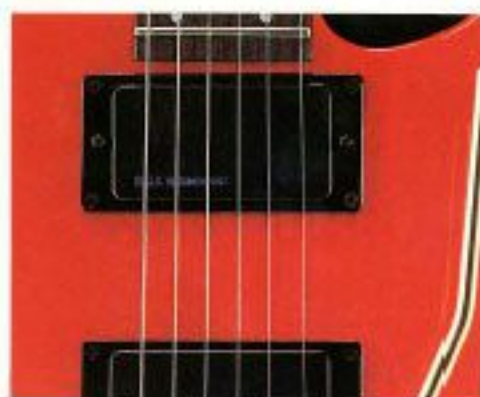
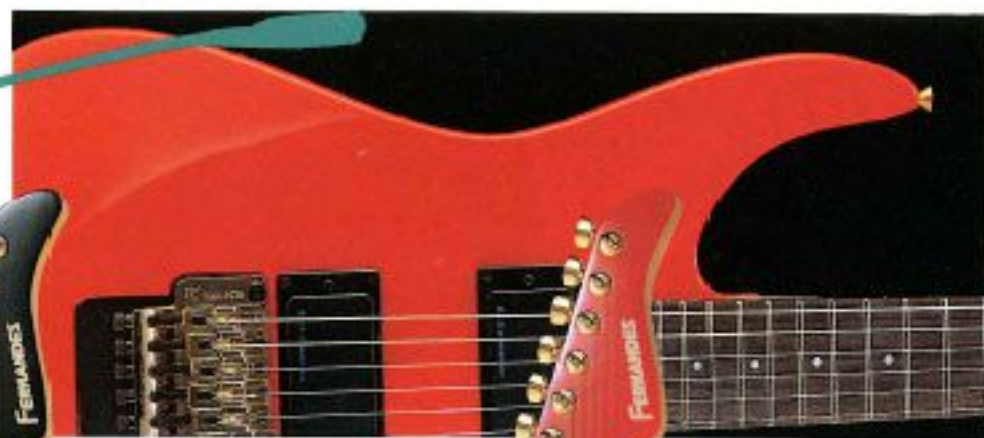
ハイ・ステージ・パフォーマンスにシフトする新しい主流——FR-75。  
ニュースタンダード

REVOLVER

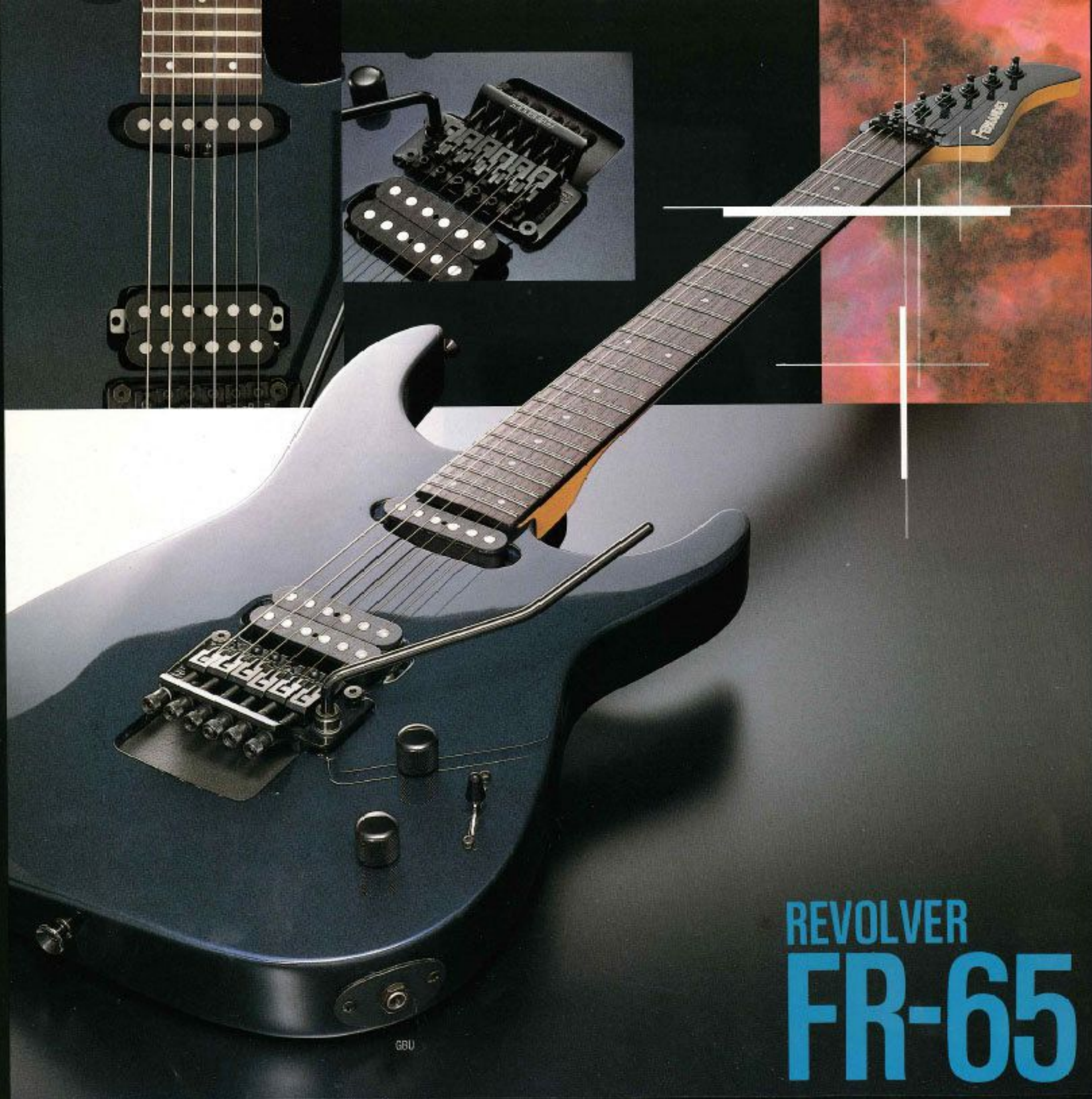
FR-75

¥75,000

NECK/M Maple  
FINGER BOARD/Rosewood, 24F., 350R, 25.50" Scale  
NECK JOINT/Bolt-On  
BODY/Ses  
PICK UP/NEW F.G.I. TECHNOLOGY-H-PRO  
CONTROL/Volume, 1Tone(Switch Pot-F.G.I. Coil Tap)  
3Way Lever-SW  
BRIDGE/FRT-6G(with PITCH-BIFT CAVITY)  
COLOR/SBL, STR, BPS, BS, ON







REVOLVER  
**FR-65**

GBU



# スタンダードを越えたコンセプト・ギター——FR-65。

REVOLVER

## FR-65

¥65,000

NECK/Maple  
FINGER BOARD/Rosewood, 24F., 35CR, 25.50" Scale  
NECK JOINT/Bolt-On  
BODY/Soft Maple  
PICK UP/THS-1(front), THD-1(rear)  
CONTROL/Volume, 1Tone, 3Way Lever-SW.  
BRIDGE/FRT-1B(with PITCH-SHIFT CAVITY)  
COLOR/MBK, PW, MTR, GBU



MBK



PW



MTR





# REVOLVER FR-55



MTR





高性能が身近になった。フットワークのいいロックギター——FR-55。

REVOLVER

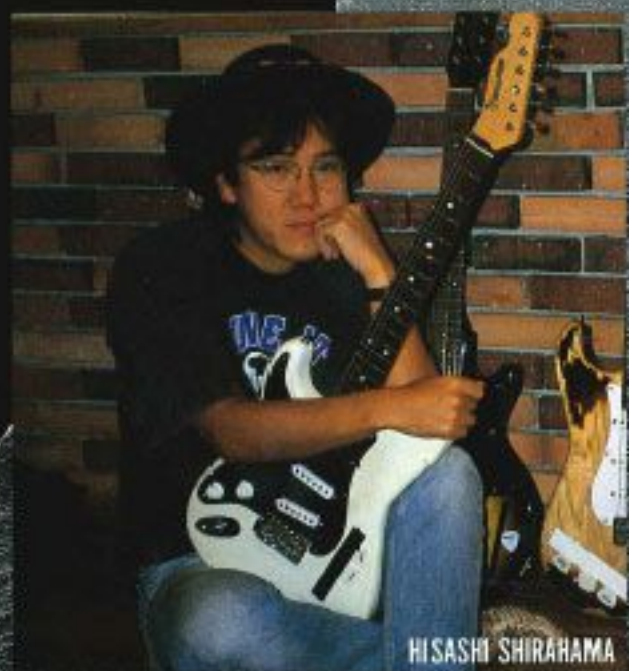
FR-55

¥55,000

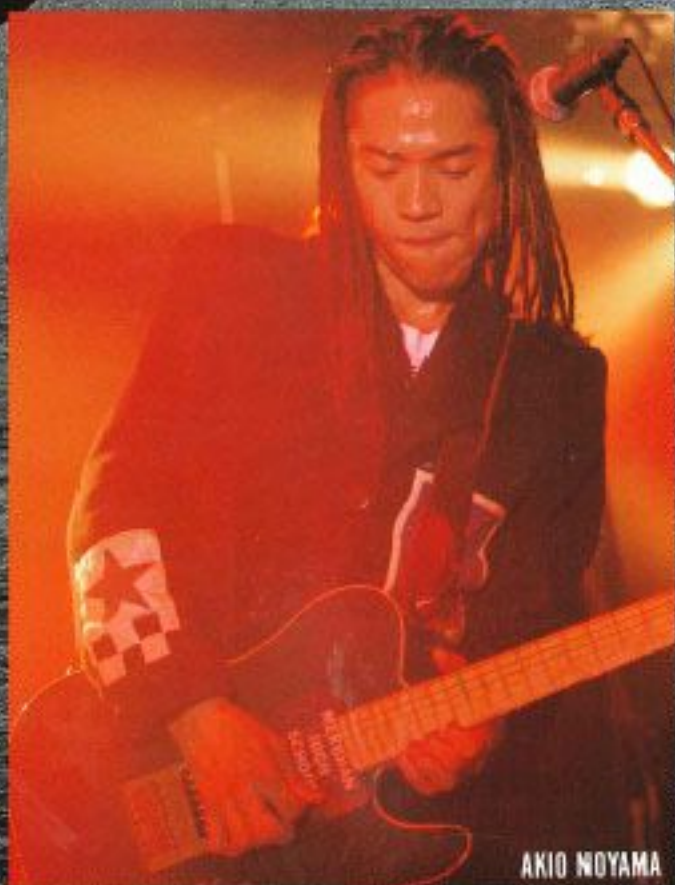
NECK/Maple  
FINGER BOARD/Rosewood, 24F., 350R, 25.50" Scale  
NECK JOINT/Bolt-On  
BODY/Soft Maple  
PICK UP/DS-1(front, center), SH-2(rear)  
CONTROL/1V/Volume, 1Tone (Switch Pot-SH-2 Coil Tap)  
5Way Lever SW.  
BRIDGE/FRT-BB(with PITCH-SHIFT CAVITY)  
COLOR/BL, SW, RED, MTR, MTV, MTR







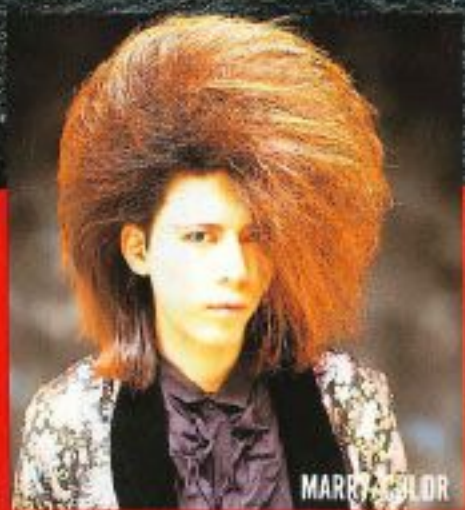
HISASHI SHIRAHAMA



AKIO NOYAMA



AKIRA TSUKAMOTO/HEAVEN



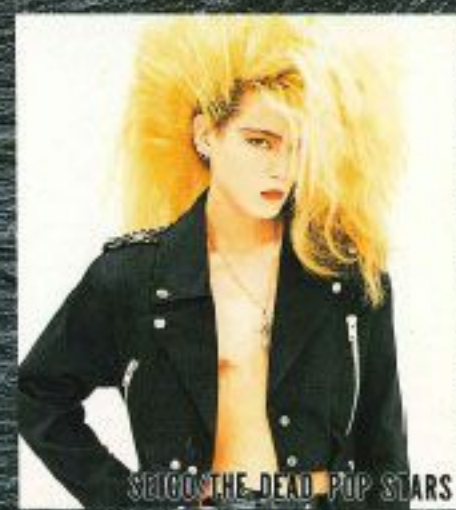
MARRY COLOR



CINDY COLOR

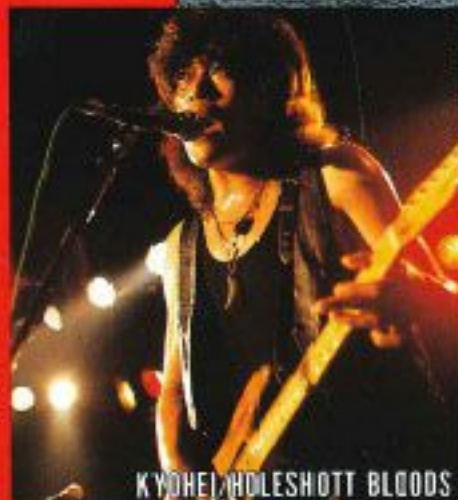


HIROMI THE DEAD POP STARS



SEIGO THE DEAD POP STARS

## FERNANDES MUSICIANS

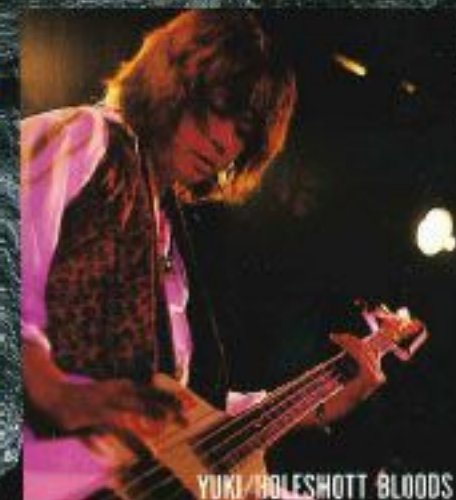


KYOHJI/HOLESHOT BLOODS



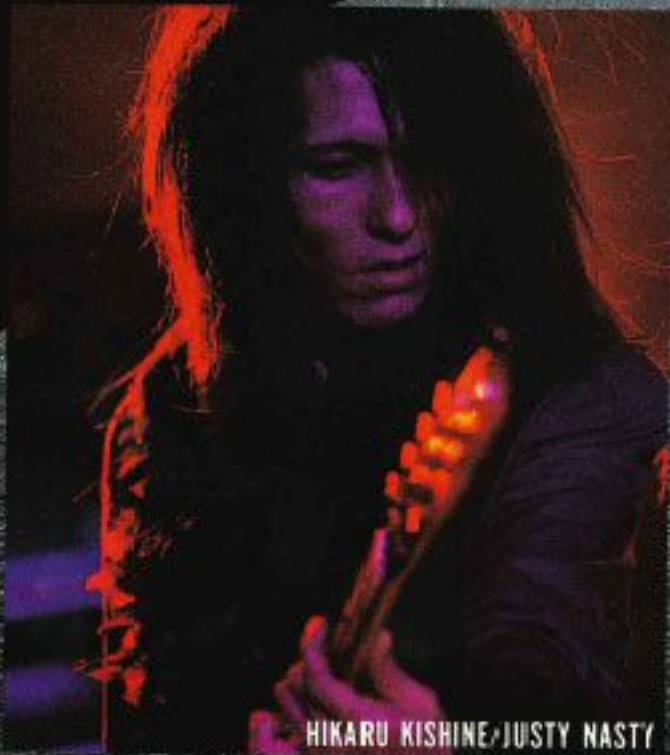
TAKE/HOLESHOT BLOODS

Photo by Shinya Yamada

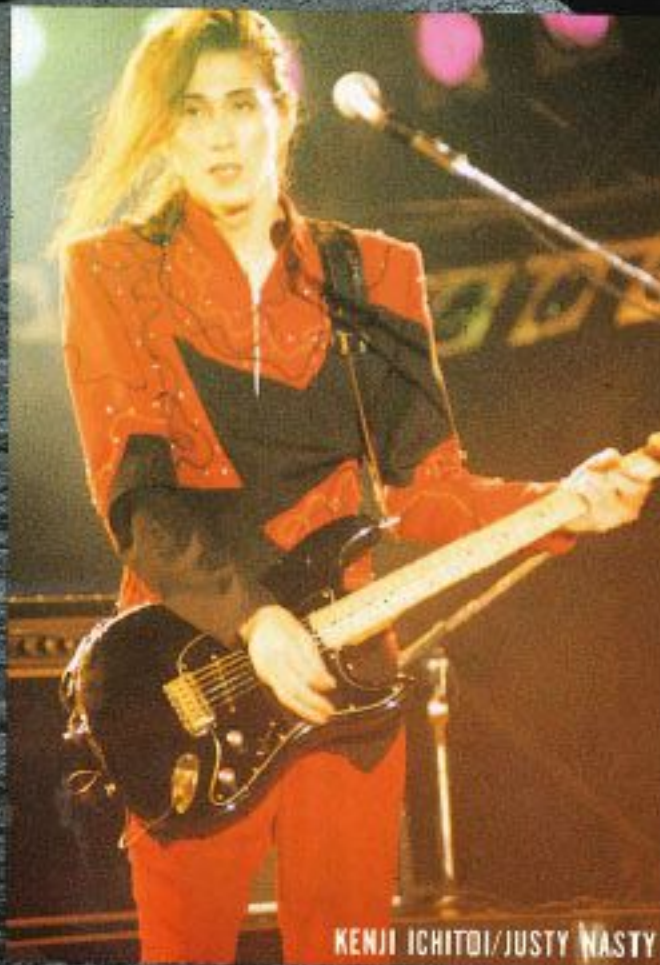


YUKI/HOLESHOT BLOODS

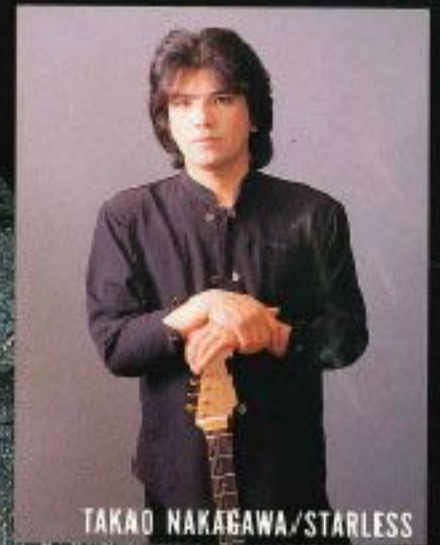




HIKARU KISHINE/JUSTY NASTY



KENJI ICHITAI/JUSTY NASTY



TAKAO NAKAGAWA/STARLESS



JUTARŌ OKUBO/STARLESS



KATSUNI

KAZUKI

KOICHI/AMPHIBIAN

## FERNANDES MUSICIANS



TAKEHISA  
MARUYAMA

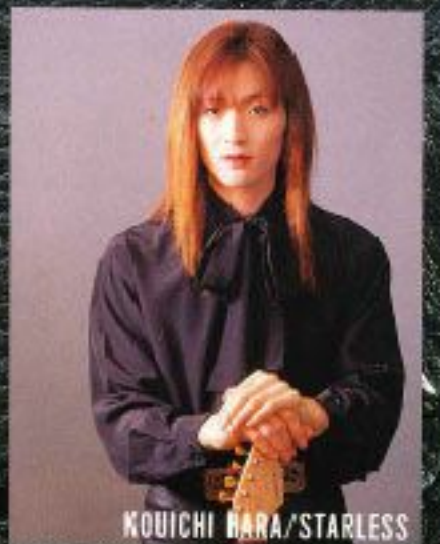
SHITSUGU  
YAMASHITA  
/LUIS-MARY



KATTARI/WACK-CHIN5



MAKOTO/WACK-CHIN5



KOICHI HARA/STARLESS





DANA STRUM/SLAUGHTER



Photo by William James

ROCCO PRESTIA /TOWER OF POWER

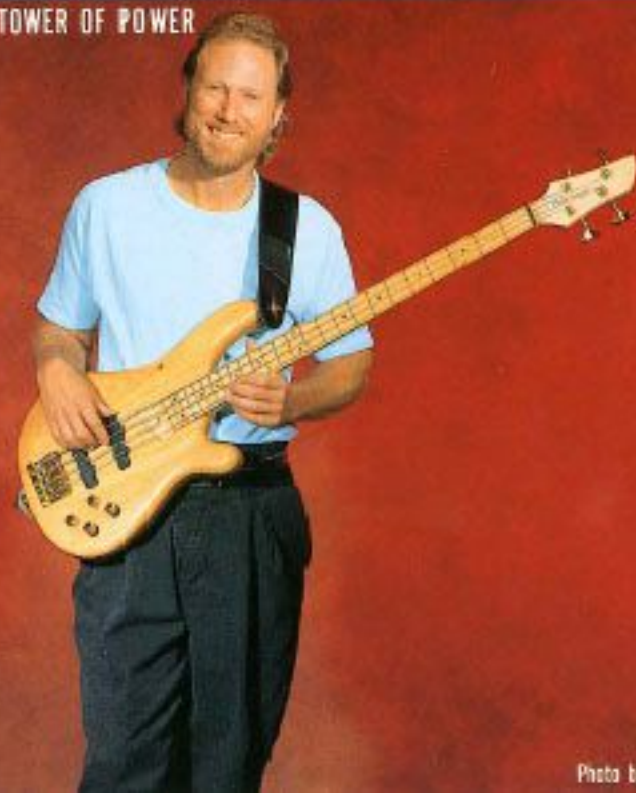
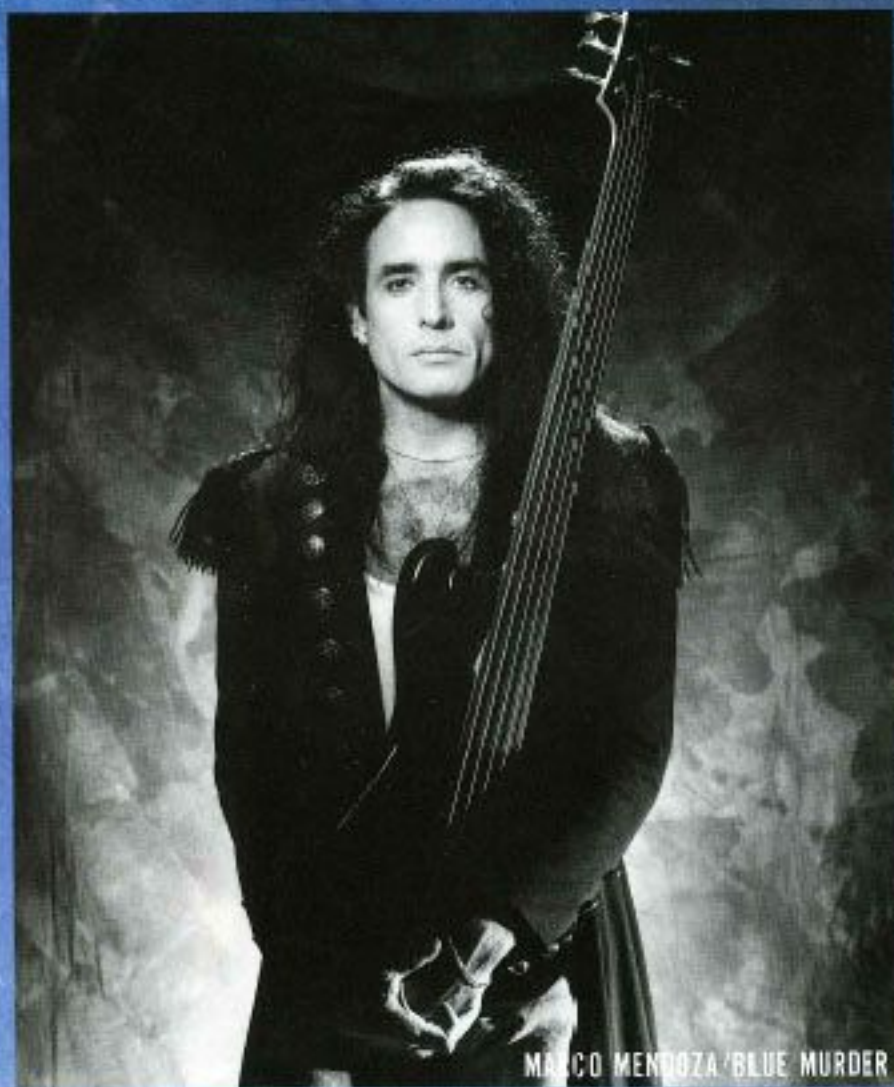


Photo by William James



MARCO MENDOZA /BLUE MURDER

## FERNANDES MUSICIANS

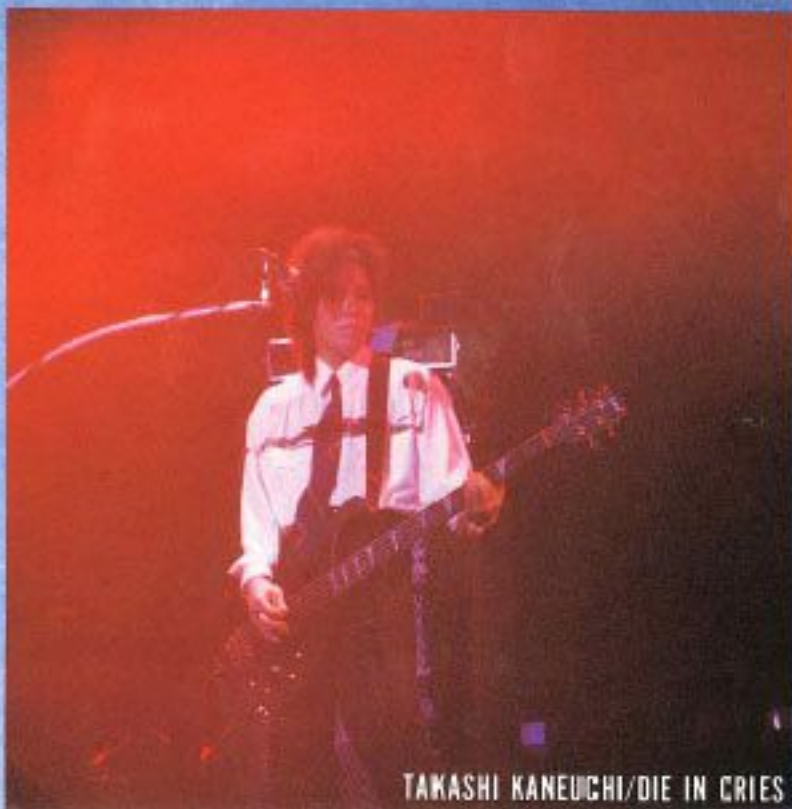




HIRONORI YOSHIKAWA/GRAND SLAM



MITSUGU WATANABE/PERSONZ



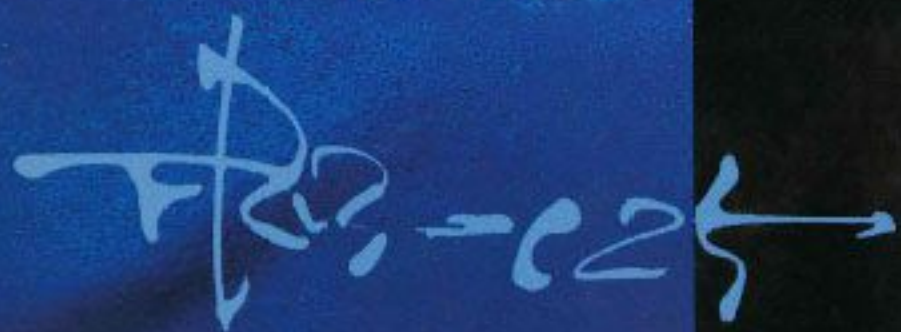
TAKASHI KANEUCHI/DIE IN CRIES



## FERNANDES MUSICIANS



ベーシストのスピリット・サイドにFRBのスペシャリティ。



## REVOLVER BASS "FRB"



FRB-125



FRB-180

Long Scale

REVOLVER BASS

### FRB-180

¥180,000

NECK/Maple  
FINGER BOARD/Maple, 24F., 350R, 34.00" Scale  
NECK JOINT/Bolt-On  
BODY/Curly Maple Top, Mahogany Back  
PICK UP/NEW F.G.I. TECHNOLOGY-J  
CONTROL/M. Volume, Balancer, Treble, Bass  
(Active Tone Control "TC-9800")  
BRIDGE/B8-40 IG  
COLOR/ON

REVOLVER BASS

### FRB-125

¥125,000

NECK/Maple  
FINGER BOARD/Rosewood, 24F., 350R, 34.00" Scale  
NECK JOINT/Bolt-On  
BODY/Walnut  
PICK UP/NEW F.G.I. TECHNOLOGY-J  
CONTROL/M. Volume, Balancer, Treble, Bass  
(Active Tone Control "TC-9800")  
BRIDGE/B8-40 IG  
COLOR/ON





FRB-100

FRB-90

Long Scale

REVOLVER BASS

## FRB-100

¥100,000

NECK/Maple  
 FINGER BOARD/Rosewood, 24F., 350R, 34.00" Scale  
 NECK JOINT/Bolt-On  
 BODY/Southern Firm Ash or Sen  
 PICK UP/NEW F.G.I. TECHNOLOGY-J  
 CONTROL/M. Volume, Balance, Treble, Bass  
 (Active Tone Control "TC-9500")  
 BRIDGE/BB-501G  
 COLOR/SB., STW, STP, VN

REVOLVER BASS

## FRB-90

¥90,000

NECK/Maple  
 FINGER BOARD/Rosewood, 24F., 350R, 34.00" Scale  
 NECK JOINT/Bolt-On  
 BODY/Southern Firm Ash or Sen  
 PICK UP/NEW F.G.I. TECHNOLOGY-PJ  
 CONTROL/M. Volume, Balance, Treble, Bass  
 (Active Tone Control "TC-9500")  
 BRIDGE/BB-401G  
 COLOR/BL, SW, STP, VN





REVOLVER  
BASS

## FRB-75

¥75,000

NECK/Maple  
FINGER BOARD/Rosewood, 24F., 35OR, 34.00" Scale  
NECK JOINT, Bolt-On  
BODY/Ses  
PICK UP/NEW F.G.I. TECHNOLOGY-PI  
CONTROL/W. Volume, Balancer, Treble, Bass  
(Active Tone Control "TC-9500")  
BRIDGE/BB-BG  
COLOR/SBL, STW, STP, VN, ON

STP

ON

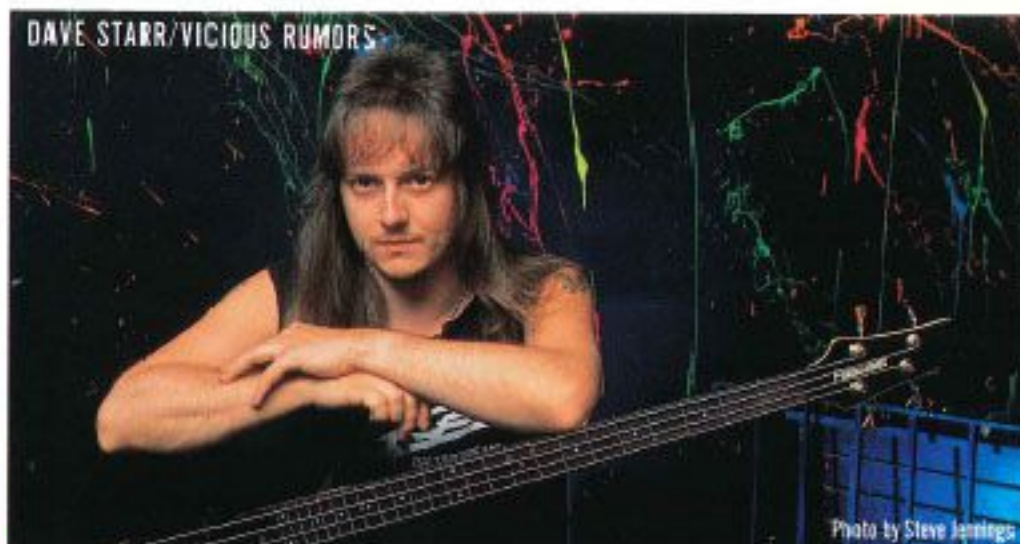
SEL

Long Scale





SCHMIER / HEADHUNTER



DAVE STARR / VICIOUS RUMORS

Photo by Steve Jennings



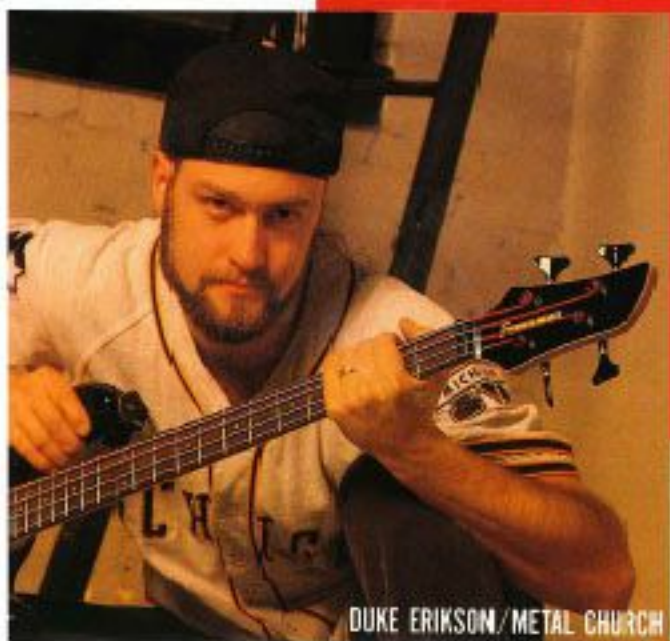
KOICHI TERASAWA



SEISHIRO / STRAWBERRY FIELDS

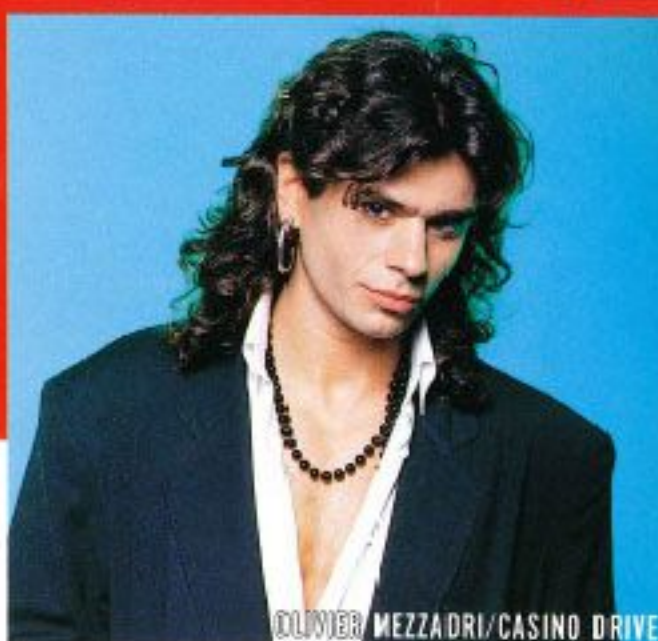


TOM ANGELRIPPER / SODOM



DUKE ERIKSON / METAL CHURCH

Photo by Karen Mason

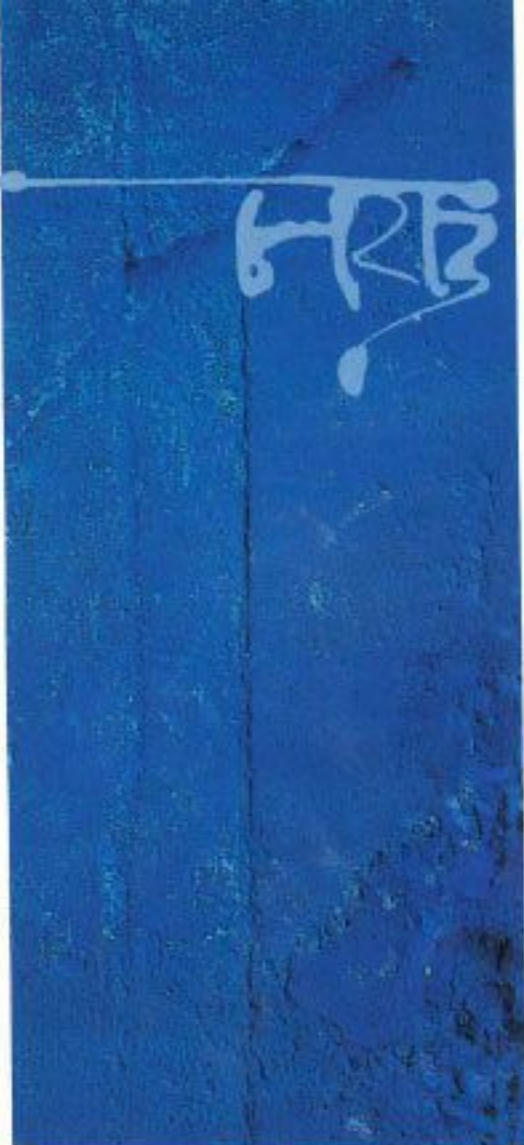


OLIVER MEZZADRI / CASINO DRIVE

# FERNANDES MUSICIANS







REVOLVER  
BASS

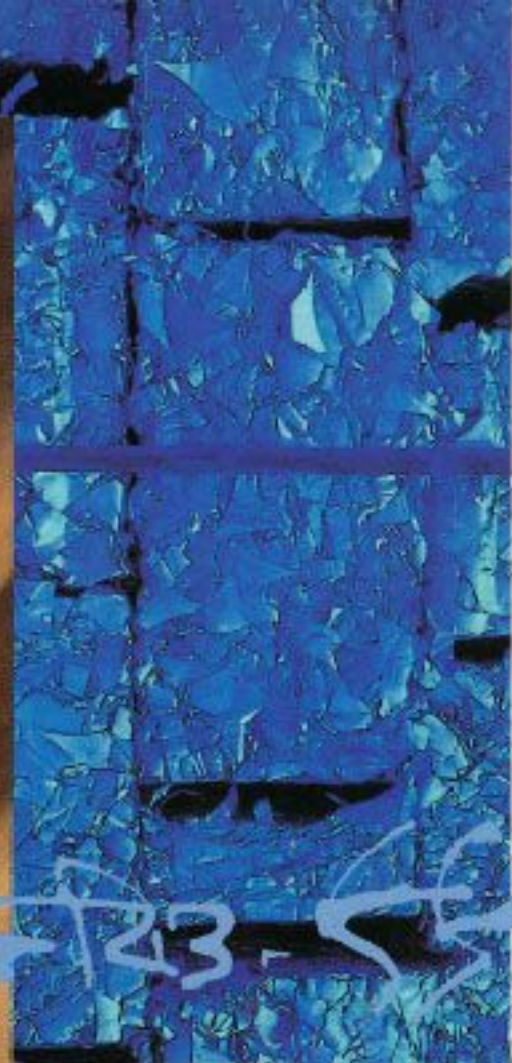
## FRB-65

¥65,000

NECK Maple  
FINGER BOARD Rosewood, 21F., 350R, 32.00" Scale  
NECK JOINT Bolt-On  
BODY Sen  
PICK UP NEW F.G.I. TECHNOLOGY-PJ  
CONTROL ML Volume, Balance, Treble, Bass  
(Active Tone Control TC-9300)  
BRIDGE BB-7G  
COLOR SBL, STW, STR, STB

Medium Scale





REVOLVER BASS

## FRB-55

¥55,000

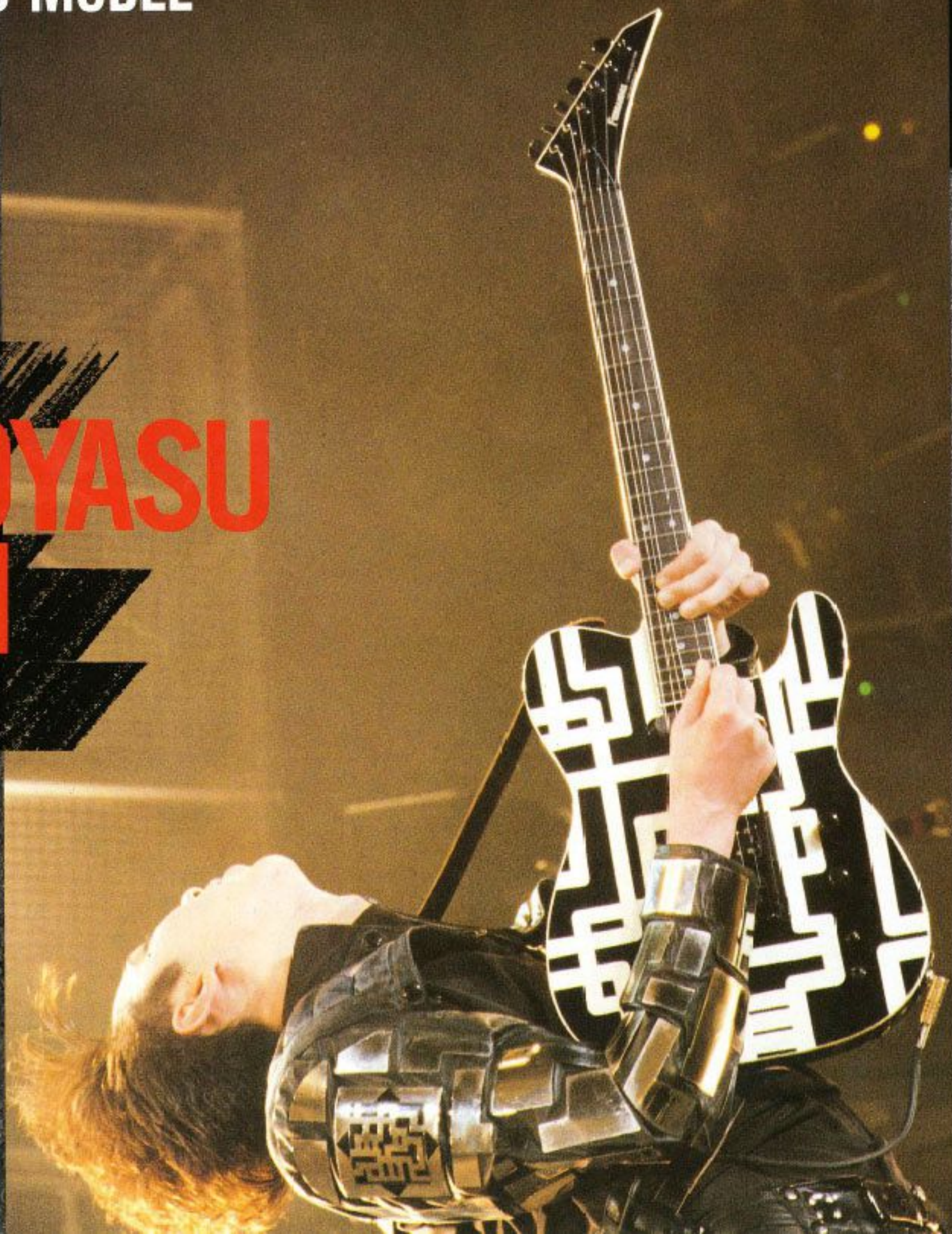
NECK/Maple  
 FINGER BOARD/Rosewood, 21F., 350R, 32-30" Scale  
 NECK JOINT/Bolt-On  
 BODY/Basswood  
 PICK UP/VFB-2(front), WJB-2(rear)  
 CONTROL/2Volume, 1Tone  
 BRIDGE/BB-7B  
 COLOR/BL SW, RED, MTV, MTB

Medium Scale



MUSICIAN'S MODEL

**TOMOYASU  
HOTEL**







HOTEI MODEL  
**TE-240HT**  
¥240,000

NECK / Selected Hard Maple  
FINGER BOARD / Selected Ebony, 22F, 400R, 25.50" Scale  
NECK JOINT / Bolt-On  
BODY / Alder (center 2pcs)  
PICKUP / F.G.I. TECHNOLOGY S-HT  
CONTROL / 1 Volume, 1 Tone, Mini SW (P.U. Select)  
BRIDGE / NEW Combination-B  
FEATURES / Schaller M6 mini machine head  
COLOR / BL-SW

HOTEI MODEL  
**TE-340HT**  
¥340,000



NECK / Selected Hard Maple  
FINGER BOARD / Selected Ebony, 22F, 400R, 25.50" Scale  
NECK JOINT / Bolt-On  
BODY / Alder (center 2pcs)  
DRIVER / FERNANDES SUSTAINER  
PICKUP / Seymour Duncan SR-4  
CONTROL / 1 Volume, 1 Tone, 2 Mini Toggle-SW,  
IOM / OFF and HARMONIC SELECT  
BRIDGE / Double Edge Tremolo DET-TB  
FEATURES / Schaller M6 mini machine head  
COLOR / BL-SW



HOTEI MODEL  
**TE-95HT**  
¥95,000

NECK / Maple  
FINGER BOARD / Rosewood, 22F, 400R, 25.50" Scale  
NECK JOINT / Bolt-On  
BODY / Alder  
PICKUP / NEW F.G.I. TECHNOLOGY-T  
CONTROL / 1 Volume, 1 Tone, Mini SW (P.U. Select)  
BRIDGE / NEW Combination-B  
COLOR / BL-SW, SW-BL







**HIDE**

